

やります
住宅リフォーム
助成制度

1億円の予算で
経済効果 15億円

千葉県いすみ市(人口4万人)では、2153万円の予算で、約3億円の工事が発注され、大きな経済効果が生まれています。

住宅リフォーム経費の一部を自治体が助成する制度で、市内業者の仕事確保に大きな効果を発揮しています。

全国で156自治体で実施され、秋田県では9億円で150億円分、約1.7倍の経済波及効果をあげています。

公営住宅やUR住宅の定期的な修繕工事を地元業者へと国交省と交渉する田村参院議員、みわ由美県議ら(10月26日)

くらしを応援し、 仕事と雇用増やします

日本共産党
の5議席で



「仕事がぱったりなくなった」「お金が心配で医者にもかかれない」…雇用とくらしの悪化は底知れない状況です。日本共産党はみなさんと力をあわせ、雇用とくらし応援で地域経済を活性化し、元気な松戸市をつくります。

高すぎる 国保料

「商売をしているが、国保料が高くて払えない」…引き下げは待ったなしです。一般財源からの繰り入れで、一世帯1万円の引き下げを求めます。日本共産党は、国が減らしてきた国保への補助を元に戻し、国の責任で一人1万円の引き下げを求めています。

一世帯1万円引き下げを

市立病院の建て替えて、 安心の医療体制を

松戸市立病院は救急医療を支える広域の中核病院として、松戸東病院はリハビリなど慢性期医療を支える病院として、民営化せず充実・発展させます。

医療費の 無料化

12月から小学校6年生まで医療費が無料となります。お母さんたちと力をあわせ署名にもとりくみ、議会でも繰り返し取りあげてきたことが成果に結びつきました。引き続き日本共産党は、中学校卒業まで75歳以上の医療費無料化を、国や県に働きかけることも、市議会には議案提案し実現に全力をあげます。

中学卒業までと75歳以上

他の党・会派は…

無料化の拡大を求める陳情に対する「無料にすれば、子どもたちが薬漬けになる」という議員の発言に、自民・公明・民主の議員が同調し否決しました。(07年3月議会)

財源は工夫と節約で

使い道のないためこみ金を市民生活にすでに使命を終えた「土地開発基金(48億円)」など、24種類・100億円以上の「基金」があります。これらの一部を取り崩して、くらし・福祉にまわします。
今すぐ出来る経費節減・3億円
市役所などのコンピューターのリース契約の見直し、多量排出事業者のごみ処理費用の適正化などで、年間約3億円の経費節減ができます。

生活密着型の公共事業で 地域の活性化を

50床の特養ホーム建設で60人、幼児100人の保育所建設で30人の雇用が生まれます。雇用が生まれれば、①家計をあたため、②地域の消費が生まれ、③市の税収も増え——「二石三鳥」の効果があります。

歩道整備など道路の安全対策や学校のトイレ改修・クーラー設置などは、地元業者の仕事と雇用の拡大につながります。

コミュニティバスを走らせ、買い物など高齢者の外出を支援し、元気な松戸市をこいっしょにつくりましょう。

雇用拡大へ



まつど民報

2010年11月号 日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会
松戸市千駄堀 1810-2 ☎ 349-1544

※日本共産党の活動と見解を紹介します。みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。